

令和7年度

第2回 花泉地域学校運営支援協議会

期日 令和7年11月27日（木）

9：30～11：30

場所 一関市立花泉小学校

◎本日の日程

開会行事 9：30～ 9：40

授業参観 9：40～10：10

協議会 10：10～11：30

次 第

進行 事務局（中学校副校長）

1 開会（副会長）

2 会長挨拶

3 報告

- ・ 教育活動中間報告
- ・ 学校から（評価アンケート）

4 熟議

児童生徒の健全育成に向けて地域が主体となってやってみたいこと

- ・ グループでの熟議
- ・ 全体交流

5 その他

6 連絡

7 閉会（副会長）

花泉地域学校運営支援協議会委員および事務局員

役職	氏名（敬称略）	備考
会長	小野寺 満	花泉中学校同窓会長
副会長	熊 谷 貴 典	花泉小学校PTA会長
	佐々木 茂 伸	花泉中学校PTA会長
委員	金 野 陸 男	地域協働体連絡協議会会長
	佐 藤 光 吾	花泉町民生委員児童委員協議会会長
	阿 部 文 聡	地城市民センター長代表
	佐 藤 忍	花泉小学校PTA副会長
	小 岩 智	花泉中学校PTA副会長
	佐 藤 健 三	花泉退職教師の会代表
	橋 本 ゆかり	県立花泉高等学校長
	菅 原 美 穂	一関市役所花泉支所地域振興課
	高 橋 飛 鳥	会社員
	千 葉 琢 磨	農業
	渡 邊 淳 子	自営業
	門 田 徹	花泉小学校校長
事務局	小 岩 類	花泉小学校副校長
	佐 藤 拓 史	花泉中学校校長
	阿 部 寿 春	花泉中学校副校長

学校運営支援協議会設置の目的

急激な社会の変化に伴い、学校と地域を取り巻く課題はますます複雑化、多様化している。学校では、不登校児童生徒数の増加、特別な配慮を要する児童生徒の増加など、多様な児童生徒及び保護者等への対応が必要な状況となっている。地域においても、人口の減少や家族形態の変化、価値観やライフスタイルの多様化等により地域社会における支え合いやつながりが希薄化することによって、地域社会の停滞や教育力の低下などが指摘されている。

本協議会は、学校及び地域住民・保護者等が、「子ども達の未来が、この地域の未来」という理念を共有し協議することにより、学校と地域住民等の信頼関係を深めることをもって、学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組むとともに、地域全体の活性化や絆の教科に貢献しようとするものである。

- 将来、花泉地域を担っていく児童・生徒たちが、自分たちが暮らす地域の良さに気づくことができるような、小・中学校での学びの機会を準備したい。
- 幼児期から高等学校までの花泉地域の児童・生徒に関わる団体（PTA、市民センターによる教育振興運動、地域共同体）が連携することで、地域を活性化の一助となしてほしい。

花泉小学校運営中間報告

1 令和7年度運営方針の重点

(1) 今、求められている学力に焦点を当てた授業

- ① 10月8日に市教委指定による学校公開研究会を実施した。
- ② 従前の、知識・技能「何を知っているか（コンテンツ・ベース）」から、その教科を学ぶことで「社会に出て、何ができるようになるのか（コンピテンシー・ベース）」への学力観の転換に合わせた授業改善に取り組んできた。
 - ・ 聴くことを大切にしたい共同の学び
 - ・ 学年チーム担任制と、3年生以上での一部教科担任制

(2) 花泉地域の「ひと・もの・こと」に触れ、地域のよさを学ぶ

- ① 生活科・総合的な学習へ地域素材を位置付けた年間計画を作成し実施している。次年度、よりよいものに改善していく。
- ② こども園・保育園と連携したスタートカリキュラム、架け橋カリキュラムの取組が始まっている。入学間もない時期の1年生の参観を実施。昨年度実施の3学期の小学校での体験入学に加えて、こども園・保育園間での年長児の交流行事が計画されている。
- ③ 小・中連携を意識した児童・生徒間の交流に加えて、小・中教諭間での授業参観の実施が計画されている。

(3) 学校・保護者間の連携・情報共有のよりよい在り方の検討

- ① 学校・保護者間の情報共有のペーパーレス化に取り組んでいる。これまで、保護者からのネガティブな反応はない。
- ② 市教委の取組として、学校の電話に「自動音声応答システム」機能の追加が進められている。10月後半から順次工事が進められている。完了後は、一関市内全ての小学校では18:00～7:30は原則的に電話での対応をしないこととなる。

2 学校の概況

(1) 児童の状況

① 今年度児童数：() は支援学級児童数・学級数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援	合計
児童数	77(5)	70(9)	78(8)	76(5)	77(3)	86(5)	(35)	464(35)
学級数	3	2	2	3	3	3	(8)	16(8)

- ・ 通常学級 16学級
- ・ 特別支援学級および通級指導教室
特別支援学級8学級(知3、情2、肢1、病1、聴1)、通級指導教室1学級(ことば)
- ・ 不登校・別室登校児童

	R6	R7.5月	R7.8月	R7.9月
不登校(30日以上)	18	6	7	10
別室登校	3	0	0	1

不登校児童のうち、フリースクール利用は4名。部分登校、タッチ登校等で、完全不登校は0。

- ・ いじめ報告件数

	R6	R7
認知件数	20	4(昨年度からの継続2、本年度確認2)
解消確認件数	18	3(昨年度からの継続2、本年度確認1)

(2) 今後の行事予定

1 学期	2 学期	3 学期
4/ 7 月 始業式、2～6 年 登校日	8/25 月 2 学期始業式	1/13 火 3 学期始業式
4/ 8 火 入学式、1・6 年 生登校日	9/ 3 水 自由参観日	2/ 3 火 R 8 年度入学児 一日入学
4/19 土 参観日、PTA 総会、 学年・学級懇談会 (4/21 月 振替休日)	10/ 8 水 学校公開研究会	2/14 土 参観日、懇談会 (2/16 月 振替休日)
4/24 木 第 1 回学校運営支 援協議会	10/16 木 R 8 年度入学児 スクリーニング検 査	3/18 水 修了式
5/15 木 5 年宿泊学習 (～5/16 日)	11/ 1 土 学習発表会 (11/4 火 振替休日)	3/19 木 卒業式、5・6 年生 登校日
6/ 7 土 運動会 (6/ 9 月 振替休日)	11/ 7 金 音楽発表会 (4 年)	3/23 月 離任式
6/25 水 陸上記録会 (5・6 年)	11/13 木 6 年修学旅行 (～11/14 日)	昨年度は 2/12 に第 3 回学校 運営支援協議会が行われま した。
7/17 木 期末個別面談 (18 金・22 月)	11/25 火 第 2 回学校運営支 援協議会	
7/23 火 1 学期終業式	12/24 水 2 学期終業式	
7/24 水 夏季休業 (～8/24 日)	12/25 木 冬季休業 (～1/12 日)	

3 次年度の見通し

(1) 児童数・学級数の見通し

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別支援	合計
児童数	57 ()	77 (5)	70 (9)	78 (8)	76 (5)	76 (2)	(29+α)	434
学級数	2	3	2	2	3	3	(7)	15 (7)

① 通常学級 15 学級(－1)

② 特別支援学級および通級指導教室

特別支援学級 7 学級(知 3、情 2、肢 1、聴 1)、通級指導教室 1 学級(ことば)

教職員による自己評価（まなびフェスト・経営の重点） 令和7年度1学期末		十分達成	概ね達成	どちらというかと未達成	ほとんど未達成
		A	B	C	D
1	学習に対して「わかる」「できる」「楽しい」「楽しい」の気持ちを育てる授業を大切にしている。	24.1	65.5	10.3	0.0
2	「話し合い・学び合い」で、友達とかかわり合いながら考えを深め、問題解決する力を育てている。	0.0	75.9	24.1	0.0
3	家庭学習の習慣づくりや読書に進んで取り組む態度を育てている。	17.9	57.1	25.0	0.0
4	自分から進んで「気持ちのよいあいさつ」を目指して指導している。	33.3	50.0	16.7	0.0
5	「ルール・約束」をみんなで決めて、みんなで取り組むよさを実感させることを心掛けている。	16.7	70.0	13.3	0.0
6	学校行事や学年・学級の取組に進んで参加する気持ちを育てる指導をしている。	26.7	70.0	3.3	0.0
7	運動することの良さが分かり、進んで取り組む気持ちを育てている。	3.4	82.8	13.8	0.0
8	健康な心と体を大切に育て、よい生活習慣の定着を図っている。	13.3	73.3	13.3	0.0
9	交通安全や災害への備えなど命を守る知識を身に付けさせ、命を大切にする気持ちを育てている。	40.0	56.7	3.3	0.0
10	「特別の教科道徳」の時間を要とした道徳教育の充実を図っている	13.8	69.0	17.2	0.0
11	支援の必要な子どもも含めた全ての子どもの学びを保障するための専門性の向上を図っている。	13.8	69.0	17.2	0.0
12	発達支持的生徒指導の考え方に基づく集団作りを図っている。	24.1	62.1	13.8	0.0
13	いじめ問題・不登校対策への確かな対応に努めている。	20.5	88.5	0.0	0.0
14	自分の家族のための時間または自分自身の自由な時間を確保できている。	83.3			16.7

令和7年7月17日

保護者 各位

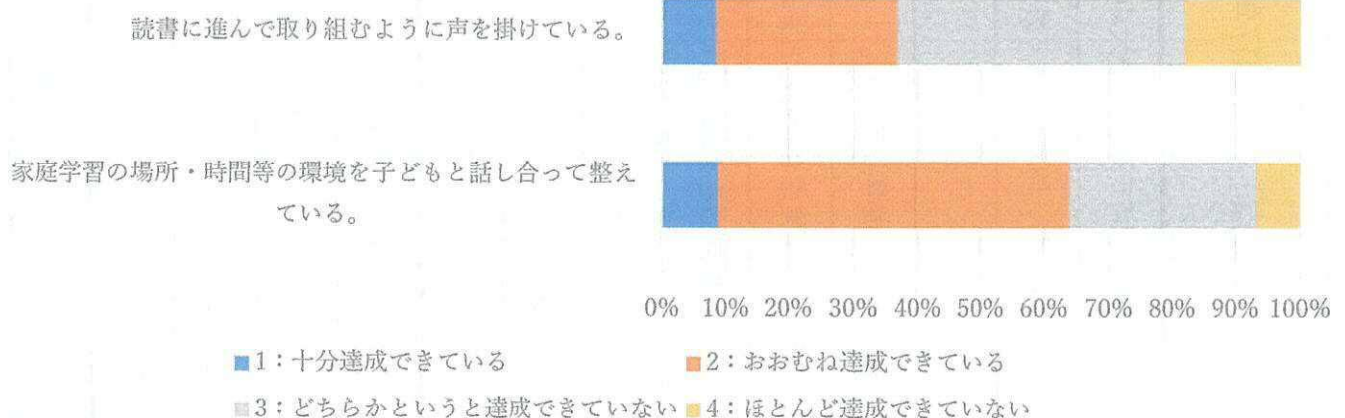
一関市立花泉小学校
校長 門田 徹

「まなびフェスト」アンケートの結果について

盛夏の候、保護者の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、この度はご多用のところ標記アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

「まなびフェスト」は、家庭と学校が目標を共有し、「学校での取組」「家庭での取組」により学校教育や「めざす子ども像」の具現化を目指すものです。今後とも、ご理解ご協力をお願いいたします。

「進んで考える子」について



- ◆家庭学習の内容には「自ら学ぶ習慣づくりのための『一人勉強』『読書』」と「基礎学力定着のための『課題（宿題・音読など）』」があります。本校では、自立的に学習する力を育むため、前者に重点を置きます。
- ◆小学校の段階で学習習慣を確立することは、その後の生涯にわたる学習に影響する極めて重要な課題です。目指しているのは、「家庭学習と読書の習慣化」です。そのためには、家庭学習の場所・時間等の環境を整えていただくこと、家庭学習や読書に進んで取り組むように声がけしていただくことが不可欠です。今後もよろしくお願いします。
- ◆学校図書館から月～木曜日は1人1冊、金曜日や休前日は2冊図書を貸し出しています。

「共に助け合う子」について

スマホ等には親が責任をもち、「居間8ルール」を守らせている。

地域の活動に進んで参加させている。

地域の人達ともあいさつができるよう家族で取り組んでいる。

■ 1: 十分達成できている ■ 2: おおむね達成できている
■ 3: どちらかというと達成できていない ■ 4: ほとんど達成できていない

◆「居間8ルール」の説明文書によると、スマホ等の長時間使用がもたらす問題として四つ挙げられています。

- ①健康被害（視力低下・睡眠障害・生活リズムの乱れ）
- ②学習能力の低下（学習時間の減少・集中力の低下）
- ③コミュニケーション力の低下（親子関係の希薄化・社会性の低下）
- ④トラブルの発生（いじめや友人関係のトラブル）

①は「元気でたくましい子」に関わる内容、②は「進んで考える子」に関わる内容、③は「共に助け合う子」に関わる内容となっており、「居間8ルール」を徹底することは様々な面で好影響が望めます。ぜひ、「スマートフォン・タブレット・ゲーム機等の通信機器を持っている場合、夜8時には、居間（リビング）の決められた場所に置き、使用しません。保護者はそれを確認します。」の実行をお願いします。

「元気でたくましい子」について

交通安全や生活安全等の命を守る行動を身に付けさせている。

早寝・早起き・朝ごはん、歯みがき・手洗い等の健康を守る習慣を身に付けさせている。

■ 1: 十分達成できている ■ 2: おおむね達成できている
■ 3: どちらかというと達成できていない ■ 4: ほとんど達成できていない

◆どちらの項目とも家庭でしっかり取り組んでいただいています。引き続きよろしくお願いします。

◆児童は学校でも「あいさつ運動」に取り組んでいます。「気持ちのよいあいさつ」を目指しています。

花泉中学校運営中間報告

1 令和7年度の学校運営の重点

(1) 自ら考え判断する力の育成（目指す姿をイメージした取組）

3年生がよい姿を見せてくれている。

(2) より良い生活を目指す集団づくり

より良い文化を継承しようと、「あいさつ」「合唱」取組を大切にし、取り組んでいる。

(3) 確かな学力の育成（わかる・できる・楽しい授業、確かな学力育成プランの推進）

「理由や根拠を明確にして表現する力」の育成できるよう授業改善が課題。

(4) 人間性・社会性を育む（礼儀・規律の指導、命の指導、こころの力の育成）

命を大切にすることの指導、人権について、教員の学びが必要。

(5) 多様な学びの場の整備（個々のニーズの把握、多様な個に対応する体制の整備）

別室に登校する生徒の学ぶ機会を保障。特別支援教育についての教員の学びが必要。

(6) 地域の未来を担う人材の育成（総合的な学習の時間、小中高・地域との連携）

修学旅行で先輩訪問の実施。英語・外国語活動での小中連携。探究活動発表で中高連携。

2 学校の概況

(1) 在籍生徒数等

		1年	2年	3年	特別支援	合計
R 6	生徒数	90	104	108	(12)	302
	学級数	3	3	3	3	12
R 7	生徒数	80	89	103	(20)	272
	学級数	2	3	3	5	13
R 8 予想	生徒数	85	80	89	(17)	254
	学級数	3	2	3	5	13

※ 特別支援学級は、知3、情1、肢1。次年度は知3、情1、病1の予定。

※ 現1年は通常学級70名2クラス。1名増であれば3学級。

(2) 不登校等

① 30日以上欠席 10名（3年：4名、2年：3名、1年：3名）

② 別室登校 8名（3年：1名、2年：3名、4名）

③ 虹の学園 2名（3年：1名、2年：1名）

④ リモート授業 1名（3年：1名）

(3) 問題行動等

① いじめ認知件数 3件（R6：、R5：）

※ 嫌なことを言われる、丸めた紙をぶつけられる、等

② 暴力 5件（R6：、R5：）

※ じゃれ合いからカッとなり殴る、あるいは蹴る、等

③ 事故等 1件 ※ 自転車を押して下校途中、後方から来た車に接触される

④ その他 7件 ※ SNS、家出、小火、グラウンド照明コンセント切断、等

3 行事予定

1 学期	2 学期	3 学期
4/ 7 始業式、入学式 18 P T A総会・参観日 30 メディア講習会 5/17 運動会 6/14 地区中総体(~16) 6/30 社会体験学習(~7/4) 7/ 2 工場見学 上級学校説明会 7/16 期末個人面談(~24) 7/25 終業式	8/19 始業式 9/ 3 修学旅行(~5) 9/13 地区新人大会(~15) 10/18 県新人大会前期(~19) 25 文化祭 11/15 県新人大会後期(~16) 12/ 3 6年生授業参観 16 期末三者面談(~19) 23 終業式	1/13 始業式 3/ 4 公立入試(~5) 12 卒業式 13 修了式 23 離任式

4 令和7－8年度一関市教育委員会研究指定（キャリア教育）

(1) キャリア教育の視点での授業実践

授業内容が「日常の生活や将来とどのようにつながっているか？」について、生徒が授業の中で感じられるよう、授業改善を進めている。共通で実践していることは、大きく2点。

① 課題を生徒から引き出すとともに、追求型の学習課題とする。（「○○しよう」ではなく、「○○だろうか？」）

② 授業の週末に、学習課題や社会とのつながりを意識した振り返りの時間を設定する。

(2) 地域の良さを体験的に学ぶ

総合的な学習の時間において、体験的な学習を進め、花泉地域の良さを学ぶ機会とする。

【1年：自分を知る】 【2年：職業について学ぶ】 【3年：花泉の未来を考える】

令和7年度 まなびフェスト学校評価アンケート（教師用）の結果について

教職員間で円滑な情報共有ができていますか。



業務量は適切だと思いますか。



学校の運営方針の決定に意見を述べることができますか。



管理職との連携は円滑に行われていますか。



地域や家庭との連携はうまくいっていると思いますか。



「確かな学力育成プラン」をもとに、「伸ばしたい力・身につけさせた力」を育成していますか。（授業改善、個々の取組を支援）
生徒が場に応じたあいさつや返事、言葉遣いができるよう指導していますか。



生徒が場に応じたあいさつや返事、言葉遣いができるよう指導していますか。



生徒が互いに認め合い、支え合うように指導していますか。



面談や「自分ログ」のコメントを通じて、生徒との心の繋がりがづくりに努めていますか。（日常会話、面談も含む）



学校は、生徒の心身の健康と安全に関心を持ち、望ましい判断ができるように取り組んでいますか。



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
■ どちらかと言うと思う ■ どちらかと言えばそう思う ■ そう思わない

その他（学校への意見、要望など）

- ・子どもたちの声をもう少し吸い上げ、自主的に活動できるようにしたい。学級、生徒会を含み、議論したりする場の設定。
- ・生徒の意見や考えを反映させていくこと。
- ・まなびフェストが生徒や保護者に浸透できるように、来年度も4月に共有する場を設けてほしい。
- ・日常生活で、生徒が思ったように話し合いや意見を出せる場が必要だと思う。常に、学校や大人にとっての正解しか発言できないような雰囲気もある。もっと生徒自身が考える（話し合える）場があればよい。

【結果について】

11項目のうち10項目で「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の肯定的回答の割合が80%を超えている。特に、まなびフェストの「生徒が場に応じたあいさつや、言葉遣いができるように指導していますか」「生徒が互いに認め合い、支え合うように指導していますか」の2項目は100%だった。まなびフェストの5項目はすべて肯定的回答が80%を超えており、教職員がまなびフェストを意識して業務に励んでいるとことがわかる。5項目のうち、「確かな学力育成プランをもとに伸ばしたい力・身に着けた力」を育成している「肯定的回答が88%でと低く、「そう思う」の回答が23%だった。学力向上に向け、さらなる授業改善に挑戦して行きたい。

「学校運営」に係る質問項目の肯定的回答は、「学校の運営方針の決定に意見を述べることができる」「管理職との連携は円滑に行われている」の2項目が100%で、「教職員間で円滑な情報共有ができていますか」「地域や家庭との連携はうまくいっていると思いますか」の2項目は80%を超えている。一方、「業務量は適切だと思いますか」については69%に留まり、多忙感や負担感を抱えながら業務にあたっている教職員がいることがわかる。したがって、教職員の意見をもとにした業務内容の見直しや改善、業務量の平準化等、働き方改革を引き続き推進していく必要がある。

令和7年度 まなびフェスト学校評価アンケート（生徒用）の結果について

学校は楽しいですか。

友達と仲良く過ごせていますか。

悩みを相談できる先生や友達はいませんか。

先生の授業は分かりやすいですか。

学んだことをもとに理由や根拠を明確にして表現することができましたか。

課題解決に向け、主体的・協働的に取り組むことができましたか。

基礎・基本となる知識・技能を習得することができましたか。

授業の振り返りをもとに、進んで家庭学習に取り組むことができましたか。

相手の考えや気持ちや想いを受け止めることができましたか。（思いやり）

お互いの良さや困難さを認め合い、共に生活することができましたか。

場に応じたあいさつや返事、言葉遣いをすることができましたか。

清掃やボランティア活動に進んで取り組むことができましたか。

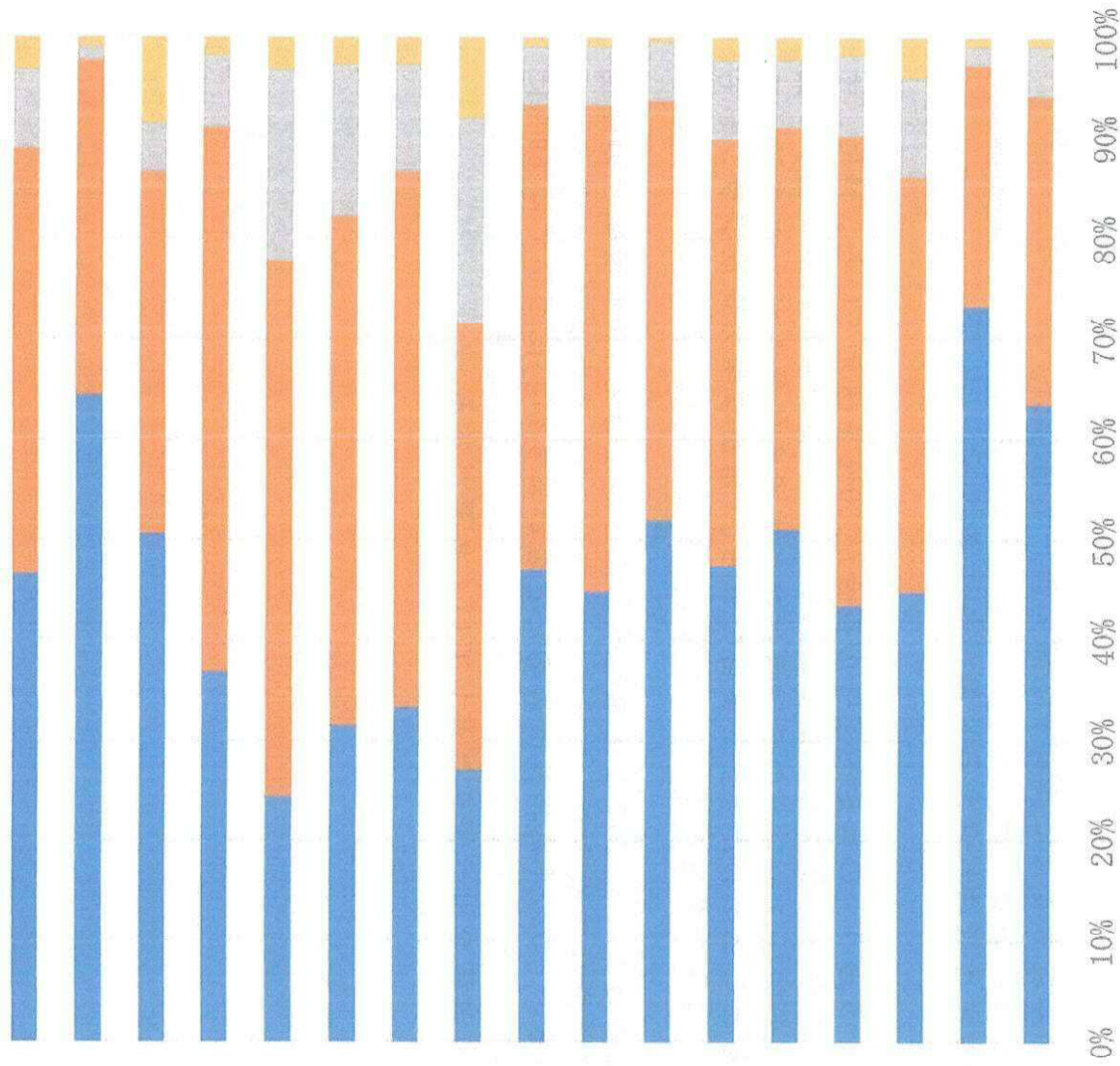
健康で安全に生活するための習慣を身につけることができましたか。

問題に直面した時に、乗り越える（助けを借りる）ことができましたか。

適切な目標を持ち、達成に向けて粘り強く取り組むことができましたか。

命を大切にし、安全な行動をとることができましたか。

伝統であるあいさつや合唱に本気で向かい合うことができましたか。



■ そう思う ■ どちらかと言えばそう思う ■ どちらかと言えばそう思わない ■ そう思わない

その他（学校への意見、要望など）

- ・服を改善してほしい。
- ・いじめのない学校にしたいです。
- ・授業態度をしつかりして集中できない環境になればいい。
- ・髪型の基準が何かかわからないから、そこを具体的に示してほしいです。（お団子、ハーファアップ他）
- ・他クラスだけではなく他学年とも合唱を交流してみたい。
- ・ケケラスの人数が多い。

※記載内容が十分に確認できなかったものについては記載していません。

【結果について】

質問項目17項目のうち、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」（肯定的回答）の合計の割合が15項目で80%を超えており、全体的にまなびフェストを意識した生活を送っていると考えられる。特に「友達と仲良く過ごしていますか」「命を大切にし、安全な行動をとることができたか」の項目で肯定的回答が97%と高く、対人関係や命の尊さを意識している生徒が多いといえる。しかしながら、人間関係や学習のつまづき等に悩みを抱えている生徒も見られ、別室登校や不登校の生徒数も高止まりの状況が続いている。悩みを抱えている生徒に対しては、予防を前提とした早期発見・早期対応に努め、生徒の心に寄り添いながら組織的に対応し、必要に応じて、関係諸機関とも連携して対応にあたる。また、教員の授業力の向上が、生徒の学力向上にもつながることから、全国学調や県学調等の分析結果をもとに授業改善に努める。

次に高かったのは「伝統であるあいさつや合唱に本気で向かい合うことができたか」の項目で、日常的に生徒会や委員会が様々な機会を利用して呼びかけたことや、特設合唱部の取り組みとあわせ、文化祭に向けた学級合唱の取り組みが肯定的解答95%につながったものと考えられる。

また、87%の生徒が「先生の授業は分かりやすいですか」の項目に肯定的に回答しているもの、本校生徒の課題の1つである「学んだことをもとに理由や根拠を明確にして表現することができたか」という項目については77%に留まっていることから、さらなる授業改善が必要ととらえている。

最も肯定的解答が低かったのは、「授業の取り組みをもとに、進んで家庭学習に取り組むことができたか」の項目（71%）で、保護者の協力も得ながら、生徒たちの将来の進路実現に向け、キャリア教育を通じて学習意欲や目的意識をもたせることが重要であると考える。

学校への意見・要望等では建設的な意見が寄せられた。今後の指導に役立てていく。

令和7年度 まなびフェスト学校評価アンケート（保護者用）の結果について

子どもは毎日楽しく学校に通っていますか。



子どものことで先生に気軽に相談できますか。



授業内容は子どもの学力向上に役立っていると思いますか。



学校の教育方針や目標を理解していますか。



子どもの努力を認め、応援することができましたか。



「おはよう」「ありがとう」「はい」というあいさつ・返事ができるように声がけをすることができましたか。



「早寝・早起き・朝ごはん」を励行することができましたか。



安全に生活できるように、見守り、声がけをすることができましたか。



情報メディアの適切な使い方・ルールについて、子どもと一緒に考えることができましたか。



町・地区行事等では、子どもと一緒に活動し交流することができましたか。



子どもが決めた時間に学習できるように協力することができましたか。



0% 20% 40% 60% 80% 100%
■ そう思う ■ どちらかと言えばそう思う ■ どちらかと言えばそう思わない ■ そう思わない

【結果について】

1 1の質問項目のうち6項目で「そう思う」「どちらかと言う」「そう思う」の割合が8割を超える結果となっている。なかでも「授業内容は子どもたちの学習向上に役立っている」と思っていますか。(90%)「子どもたちの努力を認め、応援することができましたか。(96%)」「安全に生活できるように、見守り、声がけをすることができましたか。(98%)」の4項目で高い評価となった。

今後は、「子どもたちが毎日楽しく登校できる」「子どもたちの行事の取り組みを計画的に実施すること」「安全で衛生的な学校環境を目標とし、「生徒の自主性やアイディアを大切にしたい」「子どもたちのコミュニケーションを大切にしたい」と意識していきたい。

肯定的な評価の割合が8割を下回ったのは、「学校の教育目標を理解しているか。(75%)」「早寝・早起き・朝ごはんを励行することができたか。(69%)」「町・地区行事等では、子どもと一緒に活動に交流することができたか。(65%)」「子どもが決めた時間に学習できるように協力することができたか。(76%)」の5項目だった。

学校として、一人でも多くの保護者に教育目標「人間性豊かな心を持ち、たくましい実践力のある生徒」(具体:「自ら考え、進んで学ぶ生徒」「礼節を重んじ、勤労と奉仕に励む生徒」「心身を鍛え、向上意欲に燃える生徒」)を理解していただくとともに、保護者と協力して日常生活(学校・家庭)の中で理想の生徒像を目指し、以下の教育活動にも力を入れていく。

- 1 規則正しい生活や朝食の大切さを生徒とともに考える機会(保健講話等)
- 2 保護者参加型の情報モラル教室の開催(年度初め)
- 3 地域貢献(ボランティア活動等)への積極的参加の呼びかけ
- 4 安心して学習できる環境整備(授業での他者と自分の考えを交流し認め合える場面の設定、家庭での学習環境の整備)

【学校へのご意見・ご要望について】

ご意見・ご要望(要旨)	回答
・授業に集中したいのに、周囲の影響で集中できないと悩んでいる時期がありました。最終的には本人次第でもありません。どのような環境でも自分を律し、成長していく力を身に付けてほしいです。今後ともよろしく願っています。	・生徒たちが授業に興味をもつて楽しく授業に参加できるようにICTも活用しながら学習に取り組めるように、可能な限り複数の指導体制を組んでいきたいと思えます。また、生徒の理解度を指導を心がけていきたいと思えます。
・普段の生活や部活動、学校行事を通じて、先生方が丁寧に子どもにかかわってくったださっていることに感謝しています。	・今後も、生徒たちが充実した学校生活を送れるように、部活動や学校行事、日常の委員会や係活動、清掃活動等を通じてよいところをさらに伸ばす指導を心がけていきます。
・小火の調査結果はどうなっているのでしょうか。	・警察や消防署が継続して調査しており原因が未だ不明です。現在、学校としては、生徒の安全確保を最優先に生徒への注意喚起と、徹底した校舎の見回りや安全点検を行っています。
・特設合唱部について、本来の部活動は、大会以外でも、大会・イベント前の練習を優先させてほしい。	・各種合唱コンクール直前の練習は、どうしても全員揃っての練習が必要になります。それ以外は、部活動を優先できるように練習計画を考えたいと思えます。

※ 学校へのご意見・ご要望(趣旨)は、全校で共有した方がよいものを掲載しました。なお、個別に対応したもののや記載内容を十分に確認できなかったものについては掲載をしております。回答が必要な場合は電話でお問い合わせください。

